

# あきちゃんの魔法のふでばこ プロジェクト成果報告



大分県立南石垣支援学校  
報告者 岩下 倫子

# 目標① ルールや約束を守って使う



- ・ 「あいぱっど3つのやくそく」をiPadのロック画面に設定し、使用時に確認する。
- ・ iPad使用時に約束を児童と確認する。
- ・ 約束を守ることを徹底する。



1学期～2学期前半  
タイマーを設定したり、言葉かけをしたりして順番や時間を守るように指導。



2学期後半から、友だちや周りの様子を見て自分から終わることができるようになってきた。

左側の教師が奥にいる児童にお絵かきを辞めるように声かけしていたところ、写真の児童が自らiPadをやめて返しに来ているところ。

## 目標②

すべての児童がiPadに触れ、「楽しい」、「できる」、「もっとしたい」を体験させ、興味関心をもたせる。

### 小学部活用状況

2年生は、毎日固定して使用し、個別の学習や、日常生活の指導、生活単元学習、余暇の時間等に使用。

2年生以外の学年は、週に1日、個別学習や、余暇の時間に使用している。



小学部の児童27名全員がiPadを使って学習したり、遊んだりすることができた。

1学期までに体験する事ができなかった児童も、プロテクタケースを借りたことで使用することができた。

	1台目	2台目
月	2年（午後は4年）	4年
火	2年	6年
水	2年	3年
木	2年	5年
金	2年	1年

# 固定で使用した2年生の様子



はじめは調理に興味をもたず、自分から参加していなかった児童が、回数を重ねるごとに積極的に調理に参加するようになった。



活動に意欲的だった児童は、2学期の最後に全ての工程を一人で行い、ホットケーキを作ることができた。

## iPadをレシピ本にしてホットケーキ作り



ホットケーキのレシピや材料を買いに行くための買い物学習についてのスライドがあります。実物を見たい方は声をかけてください。



めあて  
アテオに  
ほっとけーきの  
ざいりょうを  
かいいいこう

ほっとけーきをつくらう!



## お絵かきアプリを使って絵を描き 絵画展に出品

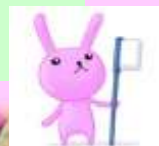


「音でレインボー」とい  
アプリケーションを使っ  
て自由に描いた絵を背景  
にして、絵の具で描いた  
顔を貼り付けて完成！



校外学習の事前学習では、keynoteの  
スライドを見たり触れたりしながら行  
う。事後学習では、校外学習時の写真  
を見て振り借りをする等に活用。  
スライドの実物を見たい方は声をかけ  
てください。

## 5分歯みがき



2年生の児童2名  
は、2学期以降、給  
食後に毎日5分歯み  
がきに取り組んだ。  
給食から戻ってく  
ると、自分でアプリ  
を起動し、イスを持  
ってきて座り、画面  
を見ながら歯みがき  
することができた。



## 目標③

# 個別学習の教材として使用する

取り組むアプリケーションの画面や課題をカードにしてホワイトボードに貼る。取り組むアプリケーションの画面をカードにしているため、他のアプリや余暇の時間に見ているYoutube等を見ることはなく課題を行うことができた。

文化祭の劇で行った「おおきなかぶ」の絵本を読んでいるところ。始めに、iPad絵本の音声で読むのを聞き、2度目は自分で声を出して読んでいた。



左の児童は継続して個別の学習時にiPadを使用した。最初にパズル等のアプリケーションをして、次になぞり書き等のアプリケーションを行い、その後、実際に鉛筆やペンを持って書く練習を行った。始めはペンを握ることが苦手であった児童が平仮名の簡単な文字は、一人でなぞることができるようになった。



# 目標④

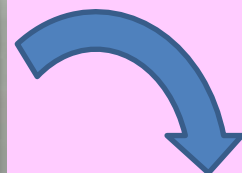
## コミュニケーションツールやVOCAとして使用する



2年生では2学期から児童1名がvoice4uとDropTalkを使って朝の会の司会を当番の時に行った。1学期は司会のカードを児童がボードに貼り、教師が言っていたが、voice4uでは自分の意思で完全に進行できるため、意欲的に取り組むようになった。

アプリケーションの中身や、実際の朝の会の様子が知りたい方は声をかけてください。

自由時間等にiPadがしたい時は、カードを渡して要求を伝える指導を行った。カードを渡すことで要求が伝わる成功経験を重たけ結果要求することが増え、教師に手渡すカードの種類も増えてきている。



# 他学部の使用の様子

## 中学部①

生活単元学習 「降りるバス停の表示(音声付き)を見て、バスの降車をしよう」

Ebookletにバス停名と車内アナウンスを入れる。

音声を聞いて判断する生徒とパネルの文字を見て判断する生徒に分かれて活動を行った。画面をタッチするだけで次のバス停の表示が出て、それと同時に音声も出るので生徒たちも興味深くiPadを見る姿が見られた。



## 中学部②

自立活動(個別学習)

言葉での質問をされたことに対して、かなトークの五十音順表を用いて答える。

友だちの名前や家族の名前を尋ねられたのを、五十音順のキーボードを教師と一緒に押して答えることができた。音声のボタンを押して、相手に伝わるのがうれしい様子が見られた。



## 高等部

数学「大きい数を選ぼう」スマートキッズ

提示された3つの数字から一番大きい数を選ぶ。数字を選ぶと色が変わり、正解すると〇印とピンポンと音が出る。自分で操作するのが楽しいようで集中して取り組んだ。

左の生徒は、2学期に家庭でiPadを購入する。現在は、自分で持参したiPadを学校で利用している。



# みなみいしがきサマーセミナー 触ってみようiPad

8月29日

研究研修部主催で、希望する22名の教員を対象に研修を行う。教育委員会から派遣されているiPad支援の方と協力して実践的な研修を行う。



## サマーセミナーの感想

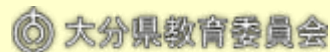
- ・ iPadの可能性を大いに感じた。これからの指導に使えるよう考えていきたい。
- ・ 研修の流れがスムーズでわかりやすかった。基本的なことがたくさん知れて、参加して良かったと思った。iPadを授業に取り入れたいと思った。
- ・ 基本的な使い方を知ることができて良かった。アプリも2人で触ったので、自分では選ばないものも見ることでよかった。少しずつ応用して使えるようになるとういと思う。
- ・ 普段、ゆっくり触ろうと思ってもなかなかできないので、気軽に色々なことを周りの先生方や指導員の方に聞いて良かった。
- ・ 子どもとのコミュニケーションの手段として、学習の道具として...使い方は奥が深いと感じた。
- ・ 教師の方が夢中になりそうだった。鮮やかな色、楽しい音などがとても楽しく、きっと子どもたちも触りたいと思うだろう。
- ・ これまで、子どもたちが楽しそうに利用しているのを見ていただけだった。1人だと、使い方がわからずじまいだったと思うが、同じグループの人や講師の方にお聞きして使い方がわかり、良かった。
- ・ 担当している生徒とできそうなことがあり、2学期以降のヒントとなった。
- ・ 画面の取り込み等、ちょっとした使い方がわかり、役に立った。これからも役に立ちそうであった。iPad2だと、カメラ（録画）機能が加わっているので、もっと使いやすくなりそうだと感じた。
- ・ 色々なアプリを試すことができ、よかった。何のために子どもたちにiPadを使うのか聞くことができ、なるほど、と感じた。

研修のスライドをご覧になりたい方は声をかけてください。

# 大分県の取り組み

## 1. 教育委員会のバックアップ

- ・ iPadの貸し出し（県から3台）と学校の無線LANの利用。
- ・ 県から派遣されたiPad支援員が月2回来校し、iPadに関する相談等に対応。



## 2. Facebookの活用

- ・ 「教育友の会」という、大分県の教育に携わる人で作られたグループ（現在616名参加）でのiPad使用の活用紹介等。

The Facebook logo, consisting of the word "facebook" in white lowercase letters on a blue rectangular background.

## 3. Webex会議

- ・ 県内の魔法のふでばこPRJ参加校とiPad実践校、教育委員会がネット上で会議を行い、情報校交換を行う。
- ・ 教育委員会と使用状況や今後の利用について、情報交換を行う。

The Cisco Webex logo, with "Cisco" in a small font above "webex" in a larger, lowercase font, both in a green color.

# 仲間とのつながり

- ・ 大分県特別支援教育カンファレンスを8月20日に行い、「魔法のふでばこPRJ中間報告」を行う。県内外から158名の参加者あり。



- ・ 魔法のふでばこPRJ参加校や、iPad実践校の教員とiPadをどのように使っているか、アプリケーションの使用方法や、活用できるアプリケーションについての情報交換を密に行い使用に役立てた。また、ATACカンファレンスに参加し、視野を広げて情報交換、情報収集を行うことができた。

